

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社大晃運送様倉庫棟	階数	地上1階
建設地	京都府亀岡市	構造	S造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	10人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2024年10月9日
敷地面積	6,632 m ²	作成者	井内千恵
建築面積	3,431 m ²	確認日	202●年●月●日
延床面積	2,976 m ²	確認者	〇〇〇

外観/パース等
 図を貼り付けるときは
 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
 ②建築物の取組み 79%
 ③上記+②以外の 79%
 ④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項

報告	その他
・事務所や食堂を道路から離れて位置に配置した。	
Q1 室内環境 ・事務所や休憩をする食堂の窓から山々が見えるように窓を配置し、道路から離れた位置に配置し騒音を感じない環境とした。	Q3 室外環境(敷地内) ・法面を緑化し生物環境の保全に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される